

## 成年後見制度活用セミナー報告書

日 時：平成 28 年 11 月 20 日（日） 13 時 30 分から 15 時 50 分

会 場：山口県セミナーパーク大研修室

テ ー マ：知ってほしい社会福祉士が担う成年後見人のお仕事

参 加 者：114 名

報 告 者：権利擁護センターぱあとなあ山口 研修部会 望月芙美恵

報告作成日：平成 28 年 12 月 19 日

（本文）

平成28年11月20日（日）13時30分から山口県セミナーパーク大研修室にて、「知ってほしい社会福祉士が担う成年後見人のお仕事」というテーマで、成年後見制度活用セミナーを開催し、「成年後見制度について知っておきたい」、「社会福祉士がどのような支援を行っているのか知りたい」などの思いから、114名の方が参加されました。

初めに、ぱあとなあ山口の讚井委員長から「権利擁護センターぱあとなあ山口の生い立ちと社会福祉士の果たすべき役割」について説明があり、次に、ぱあとなあ山口会員3名による後見活動の実践発表がありました。鬼木会員から「身よりのない方のひとり暮らしをチームで支える」、上田会員からは「本人の思いに寄り添う支援とは」、吉浦会員からは、「精神障害の方の保佐人としての支援について」というテーマで、社会福祉士後見人として感じている悩み、葛藤、苦勞、楽しさやソーシャルワーク専門職である社会福祉士ならではの後見活動について、事例を通して発表いただきました。

参加者アンケートからは、「社会福祉士ならではの後見業務を知ることが出来た」、「事例を通して、実際の活動の様子を知ることができた」、「成年後見制度のセミナーを引き続き行って欲しい」など・・・ご意見を多数いただくことが出来ました。

